

ニューヨークランプミュージアム
& フラワーガーデン

繊細な透明感と洗練されたデザインに酔いしれて…

第2回企画展「ラルリック～光と涼のガラス～」展 開催

2026年7月11日(土)～10月12日(月・祝)

2026年7月9日

株式会社伊豆シャボテン公園



ニューヨークランプミュージアム&フラワーガーデンは2026年7月11日(土)～10月12日(月・祝)まで、第2回企画展「ラルリック～光と涼のガラス～」展を開催いたします。当園においては2回目となる本企画展では、1910年代～1930年代までヨーロッパで流行した芸術様式、アール・デコ期にガラス作家として活躍したルネ・ラルリックの作品約30点を「ティファニーミュージアム」内に展示いたします。

昨年開催した第1回企画展では、1890年頃～20世紀初頭にかけてのアール・ヌーヴォー期のガラス作品の数々をご覧くださいました。植物を思わせる流麗な曲線美、自然の美を盛んに作品に取り入れた装飾性が特徴で、ミュージアムに常設展示しているアンティーク・ティファニーもまさにこの時代を象徴する存在感を放っています。これに対し、1910年前後からガラス作品の量産を本格化させたラルリックの作品は、都会的で洗練されており香水瓶やカーマスコットなど工業製品との親和性も高く、現代的な様式美も兼ね備えています。

本企画展では、アール・ヌーヴォーの華・ティファニーと、アール・デコの雄(ゆう)・ラルリックのガラス芸術の競演を楽しむことはもちろん、それぞれのデザイン様式と時代背景にまで思いを馳せていただけるような展示となっております。さらに、ラルリック作品の注目すべきポイントはガラス素材そのものの美しさにあります。乳白色に透けるオパールセントガラスや、擦りガラス状の半透明の質感は、硬質なガラスに涼やかで且つ繊細な柔らかさをもたらしています。素材とモダンなデザインとが相まって、クールな魅力を纏った作品は、灼熱の日射しとは対照的に冷涼な世界へと誘ってくれます。この夏、清爽で贅沢な空間で美の世界をご堪能ください。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4 TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>

ニューヨークランプミュージアム&フラワーガーデン
第2回企画展 「ラリック ～光と涼のガラス～」展

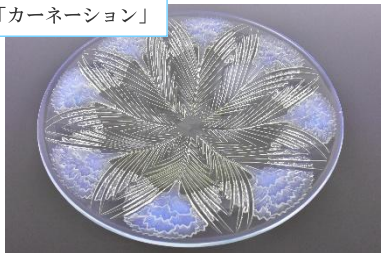
期 間	2026年7月11日(土)～2026年10月12日(月・祝)
時 間	9:30～17:00(最終入園 16:30 まで)
場 所	ティファニーミュージアム内

展示作品の一部を紹介

That's so cool!

アクセサリやカーマスコット、器や女性像など、様々なデザインのガラス。これらは、フランスのデザイナー、ルネ・ラリック(1860～1945)によって生み出されました。本展では、クールなガラス作品を約30点展示いたします。涼感を呼ぶガラスは私たちに夏を乗り切る力を与えてくれるでしょう。

大皿「カーネーション」



シャープな葉と、乳白色の花との対比が印象的

大皿「天使」



向かい合った天使がモチーフ。深い藍が美しい

花瓶「バッカスの巫女たち」



ローマ神話の酒の神「バッカス」の巫女がテーマ

女性像「シュザンヌ」



「シュザンヌ」は旧約聖書に登場する女性

女性像「タイス」



「タイスの瞑想曲」で知られる女性がモチーフ

ペンダント「二人のシレーヌ」



「シレーヌ」はギリシャ神話の海の魔物

カーマスコット「ワシの頭」



高級車のラジエーターキャップに付けられていた

花瓶「アヴァロン」



「アヴァロン」はリンゴの木が並ぶ伝説の島の名

「百合文オパールボウル」



オパールセメントと摺りガラス状の風合いが柔らか

夏のフラワーガーデン



ヒマワリ
(岬付近の花畑)



ペンタス
(エントランス付近の花畑、階段花畑)

Lumière Ocean Gate



Lumière Ocean Swing

NEW! フォトスポット

※ヒマワリの見頃は例年7月下旬以降です ※フラワーガーデンの開花状況は天候や気温により変化します

ニューヨークランプミュージアム&フラワーガーデン

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 841-1 伊豆海洋公園バス停前
TEL:0557-51-1128(代) URL: <https://nylfbmuseum.com>

年間パスポート好評発売中!

【販売場所】入園窓口にて

【有効期限】販売日より1年間